

愛称 **てつさん**



R&Iファンド大賞2026
3年連続受賞



「R&Iファンド大賞 2026」優秀ファンド賞受賞!!

あおぞら投信が運用している「あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド（愛称 てつさん）」が、格付投資情報センター（R & I）が選定する「R & Iファンド大賞 2026」において、『優秀ファンド賞』（投資信託/外国株式コア 部門）を3年連続で受賞いたしました。

部門	カテゴリー	賞	ファンド名称
投資信託部門	外国株式コア	優秀ファンド賞	あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド (愛称 てつさん)



「R & Iファンド大賞 2026」とは？

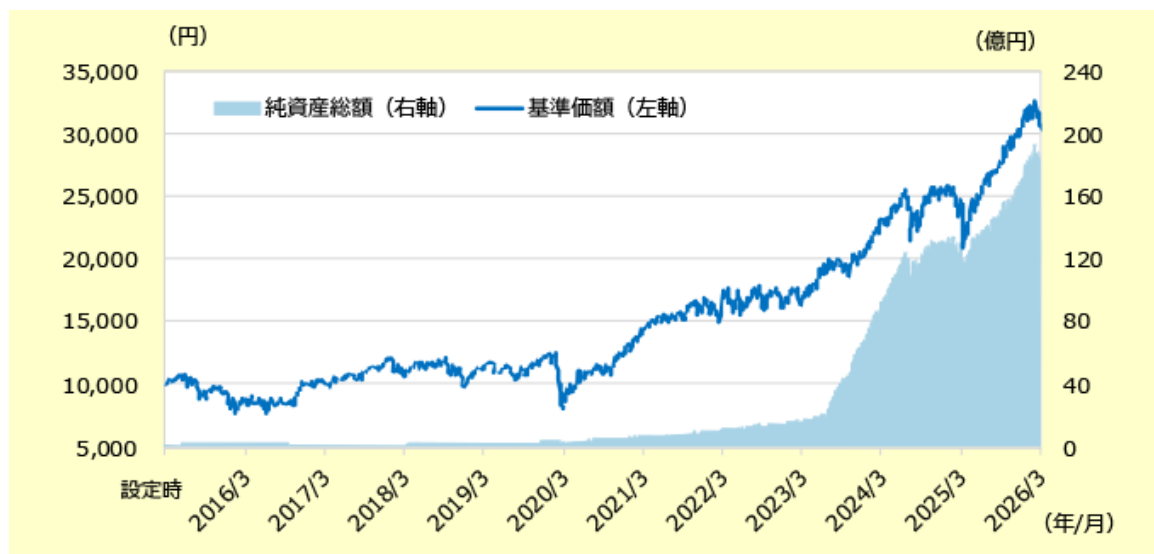
R & I が5,000本を超える投資信託の中から、中立的な立場で「優れた運用実績を示したアクティブファンド」を表彰するアワードです。

あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド（愛称 てつさん）

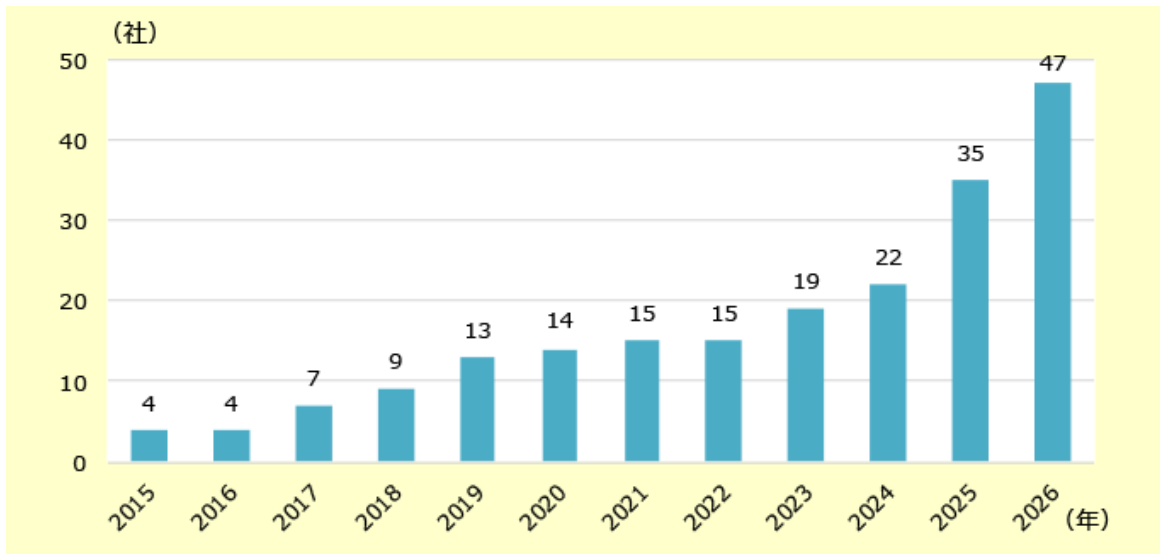
本ファンドは、先進国株式と新興国株式にそれぞれ投資する2つのファンドを組入れることで、世界中の株式に広く分散投資できるようになっており、その組入銘柄数は10,000銘柄以上に及び、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用するファンドです。てつさんの運用資産額は182.96億円（2026年3月31日現在）に達し、9年連続で純資金流入*が続いています。本ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」及び「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象となっています。

* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。連続期間は2018年3月末～2026年3月末。

<てつさん 基準価額・純資産総額の推移（2015/3/27-2026/3/31）>



＜てつさん お取扱い販売会社数*の推移（2015/3/27-2026/4/28）＞



* お取扱い販売会社数には、取次販売会社も含まれます。

アワード受賞に際して



写真左：ジョン・アール・アルカイヤ氏 写真右：高橋 誠一郎
 写真中央：あおぞら投信公式キャラクター あおぞらム (<https://www.aozora-im.co.jp/aozorafarm/>)

あおぞら投信 運用部門コメント



あおぞら投信株式会社
 執行役員
 高橋 誠一郎

てつさんは、日本を含む世界の株式に徹底した分散投資を行うことで、グローバル経済の成長の可能性を逃さない運用を行っています。組入れファンドにおける組入銘柄数は、市場の代表的なインデックスよりも遥かに多い10,000銘柄以上に及び、少額の投資でも世界中の株式に投資することが可能な商品です。

組入れファンドの運用は、世界的に著名な学識経験者がコンサルタントを務め、学術的研究を応用する運用を実践しているディメンショナル*が行っています。その投資手法は、長期的・安定的にリターンの上昇が期待できる特性として、①企業規模、②相対価格、③収益力に着目します。長期的には、①企業規模においては小型株、②相対価格においては割安株、③収益力においては収益性の高い株のリターンが優位になる傾向に着目し、その保有割合を相対的に高めつつ、効率性を重視した運用を実践することによって、長期的に市場インデックスを上回るリターンを目指すものです。

- どのタイミングで買ったらいいのか？
- 大きな下落や景気の低迷は大丈夫なのか？
- 何を買えばいいのか？

にお応えするために、下落も味方のできる積立投資によって、長期投資で時間を味方につけつつ、世界の株式に徹底的に分散投資することで、世界経済の成長の可能性を逃さず獲得していただきたいと考えています。

また、お取扱い販売会社数は設定来一貫して増加しており、多くの販売会社様にお選びいただいています。これにより、てつさんは、より幅広いお客さまにご活用いただける商品へと成長しつつあると考えております。今後も、世界の株式への分散投資を通じて、長期的な資産形成に貢献できる存在であり続けることを目指してまいります。今後とも、てつさんをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

* デイメンショナルは、デイメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッドおよびその関係会社の総称です。

デイメンショナル社コメント

こんにちは、デイメンショナルのアルカイヤです。1981年に米国で創業されました当社は、金融市場についての学術研究に基づく金融科学を実際の資産運用に応用する手法を世界に先駆けて取り組んできました。世界の金融プロフェッショナルとの連携を通じて、私たちの投資への独自の取り組みが多くの方々に将来に向けての運用成果だけでなく、より良い人生を今日もたらすことを45年にわたり目の当たりにしてきました。日本におきましては、あおぞら投信様との2014年のご設立からの緊密な連携をより長期に継続させていただきまして、皆様により良い投資経験をご提供できるよう、金融科学が導くところへ絶えず革新を続けてまいります。



デイメンショナル・ジャパン・リミテッド
日本における代表者 兼 CEO
ジョン・アール・アルカイヤ氏



運用拠点

デイメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッドは経済分野で世界的に著名な学識経験者がデイメンショナルのコンサルタントを務めており、デイメンショナルは学術的研究を応用した運用を実践しています。
詳細をみる：<https://www.aozora-im.co.jp/dimensional/>

あおぞら投信は、投資家の皆さまの利益に資する投資信託の提供に尽力してまいりますので、今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

“てつさん”ってどんなファンド？

POINT① 『徹底分散』投資

代表的インデックスの4倍以上の銘柄に

てつさん
徹底分散投資。

上下しながら成長を続けている、世界株式にマッチした投資スタイルです！

POINT② データに基づいた特性に着目する、低コストの運用手法を採用

ここにフォーカス！

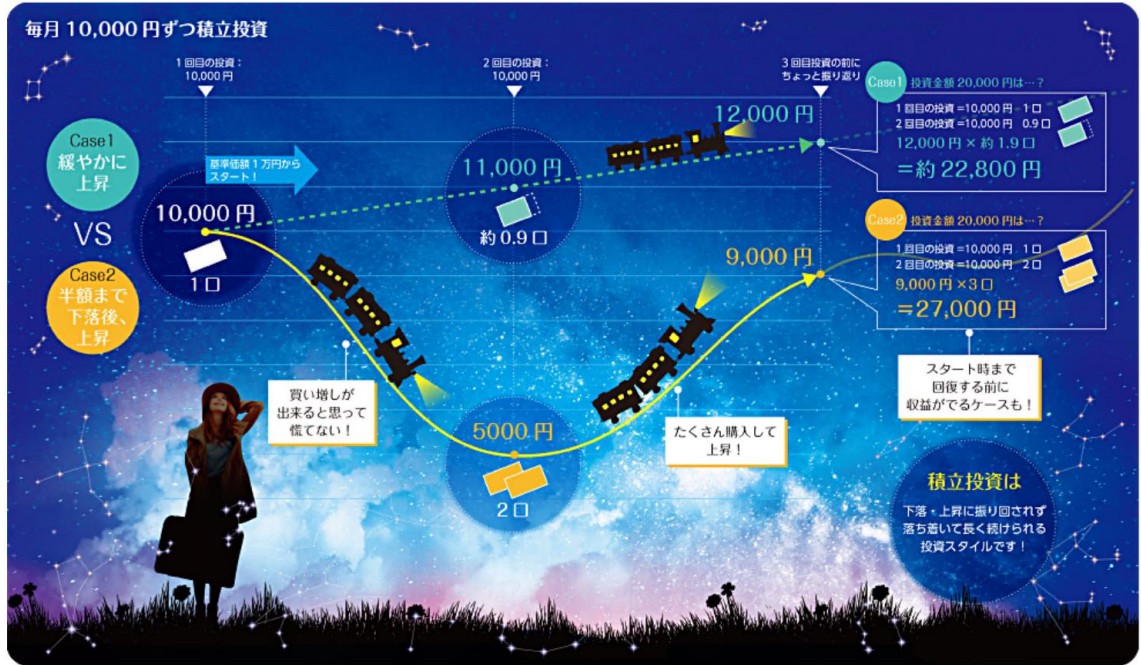
長期的には、**小型株、割安株、収益性の高い株**のリターンが優位となる傾向があります。本ファンドにおいては、一般的なインデックスと比較して、上記特性を持つ銘柄の保有比率が相対的に高くなります。

＜ポートフォリオのイメージ＞

企業の規模	株価の割安度	企業の業績
規模の小さい企業には大きな成長余地があると想定され、株価の値上がり余地も大きいと期待されます。	企業の実力に対し株価が割安と判断される銘柄ほど、相対的に大きな値上がり期待されます。	収益力の高い企業の株価は、相対的に大きな値上がり期待されます。

“てつさん”ってどんなファンド？

POINT③ 投資信託の基準価額の下落も味方のできる「積立投資」



[月次レポートをみる](#)

商品概要

ファンド名称 あおぞら・徹底分散グローバル株式ファンド（愛称 てつさん）

- 商品の特徴
- 世界の株式に広く分散投資
投資信託証券を通じて世界の株式（新興国の株式を含みます。）に市場の代表的なインデックスよりも幅広く分散投資を行うことで、リスク分散と収益の獲得を目指します。
 - 低コストで注目される新しい運用手法
個別銘柄の選択に焦点を当てるのではなく、市場インデックスを模倣するのでもない新しい運用手法で、「非従来型アプローチ」といわれています。
 - 学術的研究に基づく運用手法
学術研究から得られた特性に着目し、長期的・安定的に一般的な市場インデックスを上回る収益を目指します。

ファンドの費用	投資者が直接的に負担する費用						
	購入時手数料	購入価額に、 3.3% (税抜3%) を上限として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。					
	信託財産留保額	なし					
	投資者が信託財産で間接的に負担する費用						
	運用管理費用 (信託報酬)	<table border="1"> <tr> <td>本ファンドの運用管理費用 (信託報酬) : 純資産総額に対して</td> <td>年率0.5775% (税抜0.525%)</td> </tr> <tr> <td>投資対象とする投資信託証券の運用報酬 : 資産総額に対して</td> <td>最大で年率0.258%程度*1</td> </tr> <tr> <td>実質的な負担 : 純資産総額に対して</td> <td>年率0.8355% (税込)程度*2</td> </tr> </table> <p>*1 投資対象とする投資信託証券を、投資方針に基づいて組入れた場合の最大値を委託会社が算出したものです。 *2 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。 ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</p>	本ファンドの運用管理費用 (信託報酬) : 純資産総額に対して	年率0.5775% (税抜0.525%)	投資対象とする投資信託証券の運用報酬 : 資産総額に対して	最大で年率0.258%程度*1	実質的な負担 : 純資産総額に対して
本ファンドの運用管理費用 (信託報酬) : 純資産総額に対して	年率0.5775% (税抜0.525%)						
投資対象とする投資信託証券の運用報酬 : 資産総額に対して	最大で年率0.258%程度*1						
実質的な負担 : 純資産総額に対して	年率 0.8355% (税込)程度*2						
その他の費用・手数料	<table border="1"> <tr> <td>信託事務の諸費用</td> <td>監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。</td> </tr> <tr> <td>売買委託手数料等</td> <td>有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</td> </tr> </table>	信託事務の諸費用	監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。	売買委託手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。		
信託事務の諸費用	監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。						
売買委託手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。						

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

関係会社

委託会社：あおぞら投信株式会社
 販売会社*：株式会社あおぞら銀行
 株式会社秋田銀行
 株式会社SBI証券
 OKB証券株式会社
 株式会社大垣共立銀行
 おかやま信用金庫
 株式会社沖縄銀行
 キャピタル・パートナーズ証券株式会社
 GMOクリック証券株式会社
 株式会社七十七銀行
 信金中央金庫
 ソニー生命保険株式会社
 大熊本証券株式会社
 株式会社但馬銀行
 東海東京証券株式会社
 株式会社東和銀行
 株式会社トマト銀行
 株式会社富山第一銀行
 株式会社八十二長野銀行
 株式会社福島銀行
 松井証券株式会社
 マネックス証券株式会社
 丸八証券株式会社
 三菱UFJ eスマート証券株式会社
 株式会社南日本銀行
 momo証券株式会社
 楽天証券株式会社
 アイオー信用金庫★
 観音寺信用金庫★
 静岡信用金庫★
 瀬戸信用金庫★
 高松信用金庫★
 多摩信用金庫★
 東濃信用金庫★
 富山信用金庫★
 西尾信用金庫★
 はくさん信用金庫★
 半田信用金庫★
 姫路信用金庫★
 平塚信用金庫★
 広島信用金庫★
 福井信用金庫★
 福岡ひびき信用金庫★
 富士宮信用金庫★
 杜の都信用金庫★
 株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社)
 株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社)
 受託会社：三井住友信託銀行株式会社

- *「★」の販売会社（申込取扱場所）は、取次販売会社です。
- *販売会社は2026年4月28日時点時点の情報です。
- *本ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」及び「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により 取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- *販売会社は本ファンドの販売業務等を行います。
- *投資信託説明書（交付目論見書）は、上記の販売会社で入手することができます。
- *販売会社は、今後変更となる場合があります。

【投資リスク】

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。主な変動要因は次の通りです。

●株価変動リスク●為替変動リスク●カントリー・リスク

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

詳細は当社WEBサイトをご確認ください。 <https://www.aozora-im.co.jp/>

「R & I ファンド大賞2026」について

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。